# 桜島

令和の日本に刻一刻と迫る

## 1914・大正噴火以来の
# 大規模噴火

100年以上溜まり続けた20億㎥級のマグマが
今にも溢れ出しそうな状態です。

大規模噴火は必ず起きます。

地震などの災害と違い、噴火の予兆があるので備えることができます。

私達のまちを未来にのこすために、減災方法を共に考え行動を起こしましょう。

八幡校区／京都大学　桜島防災ワークショップ

地理院地図Web・空中写真を使用

# 20XX

## 桜島大規模噴火で起こりうること

鹿児島市民はみな桜島の噴火に慣れ、いつものことだと思っていた。しかし今度は何やら様子がおかしい。強い地震が続きその揺れは徐々にはっきりと体感できるようになってきた。不安になりテレビを点けると、大規模噴火の可能性を知らせるマスコミ報道ばかり。窓の外に違和感を感じ桜島の方を見ると火口から白い水蒸気のような噴気が上がっている。そして気象台はついに特別警報レベル5を発表。

**噴火の予兆で大混乱に陥る鹿児島**

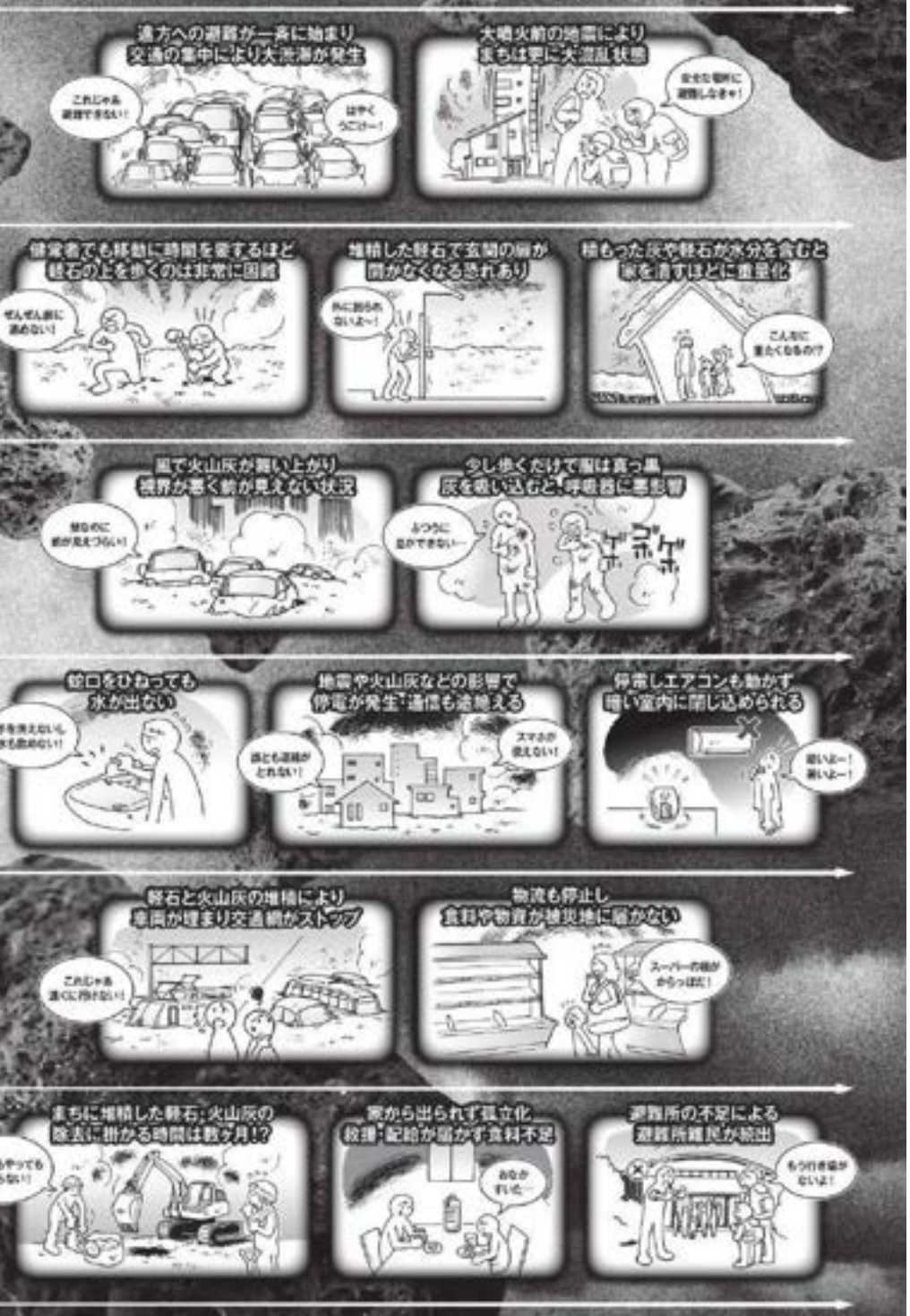
**軽石が市内に1メートルほど堆積**

**火山灰と火山ガスで呼吸困難**

**進退窮まるなか途絶えるライフライン**
（電気・水道・ガス・通信）

**陸路が断たれ麻痺する交通・物流**

**数ケ月を要する噴火後の復旧活動**



# 20XX 某日

## 正午に大規模噴火が発生すると仮定した状況シミュレーション

予兆は断続的な地震…
空を塞ぐ莫大な噴煙
鳴り響く轟音
外出・移動に困難を極めるほど
まちに降り積もる大量の軽石
PM2.5 停電

状況の変化

### 段階1 前日 09:00 時々弱い地震を感じる

鹿児島地方気象台は火山の状況に関する解説情報(臨時)を発表。マスコミ報道が増加、地震活動が活発化し、噴火警戒レベルが4、5に引き上げられる可能性を報道。

### 段階2 前日 12:00 体感できる地震が増加

鹿児島地方気象台は特別警報レベル4を発表。鹿児島市は、桜島島内全域および鹿児島市街地の中央地区に高齢者等避難を発令。鹿児島のテレビは、桜島の報道が増加。

### 段階3 当日 09:00 火口から上がる白い噴気

鹿児島地方気象台は特別警報レベル5を発表。鹿児島市は、桜島島内全域および鹿児島市街地の中央地区に避難指示を発令。鹿児島のテレビは、桜島の報道一色となる。

### 段階4 当日 12:00 大規模噴火

火山灰の雲が市街地に迫る。やがてあたりは暗くなり、軽石が落ちてくる。音がうるさく、時々何かが壊れているような音がする。硫黄臭く、せき込む。今度のテレビは桜島の報道一色となる。

### 段階5 当日 19:00 噴火継続

軽石の落下は収まらない。家具が倒れるような激しい地震が発生し、停電。鹿児島市は、桜島島内全域および鹿児島市街地の中央地区に避難指示を継続。

### 段階6 翌日 09:00 噴火規模縮小

軽石の落下は収束するが、あたり一面に軽石が堆積。火山灰は降り続く。噴火は輸小傾向にあるが、停電が続くため、状況が分からない。スマホもつながらない状況。

### 数ヶ月～年単 くらしと経済の復興

・交通・生活インフラの復旧
・堆積した軽石や火山灰、瓦礫の除去

| | 段階1 | 段階2 | 段階3 | 段階4 | 段階5 | 段階6 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 地震 | ▶弱い地震を感じ始める | ▶はっきりと地震を感じる | | | ▶激しい地震が発生 | |
| 噴煙 | | | | ▶見たことのない大きな噴煙が山頂から2列立ち上る | | ▶噴煙は減少傾向 |
| 噴火 | | | | ▶激しい噴火音 | | ▶爆発音は強くなる |
| 降石 | | | | ▶軽石が落下し続ける | | |
| 降灰 | | | | ▶火山灰の雲が市街地に迫り、硫黄臭く、せき込む | | |
| 特別警報 | | レベル4 | レベル5 | レベル5 | | |
| 警戒範囲 | | 警戒を要する範囲を南岳山頂から7kmとする | | 警戒を要する範囲を南岳山頂から10kmへ拡大 | | |

八幡校区と京都大学協働のワークショップでは、この噴火災害を生き残り、くらしを復興させる方法を論じ、模索し続けています

共に語り生き抜く仲間を募集中！裏面へ

2021.1.25 | 第1回WS
**グループ別討議実施**
大量軽石・降灰下で何が起こる？どうする？

2022.6.12 | 第3回WS
**南さつま市視察**
市指定の避難道路や施設は実際に使えるものなのか？

2022.8.2
**鹿児島市長に「鹿児島市防災計画見直し」についての中間提言を提出**

2023.1.29 | 第5回WS
**京都大学桜島火山観測所・高免観測坑道を視察**

2024.1.21
**桜島WS報告会開催**
会場(県婦人会館)が早々に満席となる約130人が参加

2024.3.10 | 第9回WS
**大正噴火で堆積した軽石の層を見学**
(京都大学桜島火山観測所)

桜島防災ワークショップへのお誘い

# 大規模噴火が発生しても生き抜くために
# 共に学び語り合いましょう！

八幡校区は、京都大学防災研究所監修の下、令和3年から10回程地域住民・研究者協働の「桜島防災ワークショップ」を開いています。近い将来必ず起こる桜島大噴火、西向きの風が吹けば鹿児島市街地が大量の軽石降灰で埋没、その際どうして生き延びるかを考え、研究者も一緒になり議論しています。また京都大学桜島観測所視察、「市防災計画」で避難先とされる南さつま市加世田まで避難の実体験も実施しています。

これらの活動で痛感することは、京都大学の桜島噴火予知研究が格段に進化している今日、私たち住民は桜島噴火活動について正しく知り、正しく恐れて備えをするということです。避難方法も「籠城」か「事前避難」か話し合いは二点三転、結局は軽石等が校区全域を1メートルも埋め尽くすことから「事前避難」が不可欠と考えるに至りました。

桜島火山活動の現状を思うと、もっと多くの鹿児島市民が桜島防災について考え、意見交換するときだと思います。ワークショップにご参加頂ける方、興味をお持ちの方は、下記までご連絡ください。

八幡校区コミュニティ協議会長
和田 一雄

お問合せ

**八幡校区コミュニティ協議会**
住所：鹿児島市下荒田四丁目7番11号
FAX：099-253-6666
E-mail：yahata-comm@po5.synapse.ne.jp


2024.9